

★ロタウイルスワクチンを接種する方へ★ ~必ずお読みください~

ロタウイルスワクチンは、令和2年10月から予防接種法にもとづく定期接種になっています。必ず、接種してください。

「予防接種の受け方」も必ずお読みになり、医療機関に予約の上、接種するようお願いいたします。



- 対象者：接種日に、那須烏山市に住所を有する
令和2年8月1日以降に生まれた出生6週～24週0日もしくは36週0日後までのお子さま

●市内協力医療機関

| 医療機関名 | 連絡先 (0287) | 所在地 (那須烏山市) | 取り扱うワクチン | |
|----------|---------------|----------------|-------------------|------------------|
| | | | ロタリックス (2回タイプ) | ロタテック (3回タイプ) |
| 阿久津クリニック | 83-2021 | 金井 2-1-6 | / | ○ |
| 近藤クリニック | 83-2250 | 野上 637-2 | ○ | ○ |
| 七合診療所 | 82-2781 | 中山 137-1 | ○ | / |
| 那須南病院 | 84-3911 | 中央 3-2-13 | ○ | ○ |
| 林田医院 | 88-2056 | 大金 212-4 | ○ | ○ |

- 接種の受け方：①必ず事前に、医療機関に接種の予約をします。
②「ロタウイルスワクチン予診票」に必要事項を記入し、予約日に医療機関で接種を受けます。

- 接種に必要なもの（接種日当日に持っていくもの）

◎母子健康手帳（回数の確認） ◎健康保険証（生年月日等の確認） ◎予診票

【接種回数とスケジュール】 ＊ワクチンの種類により条件が異なりますのでご注意ください。

| ワクチン名 | ロタリックス（1価） | ロタテック（5価） |
|-------------|---|---|
| 接種回数 | 2回接種（27日以上の間隔をあける） | 3回接種（27日以上の間隔をあける） |
| 接種間隔 | 出生6週から24週0日後まで 1回目の接種から27日以上あけて2回目 ①回目 → ②回目 | 出生6週から32週0日後まで 1回目の接種から27日以上あけて2回目 ①回目 → ②回目 → ③回目 2回目の接種から27日以上あけて3回目 |
| | ※どちらのワクチンも、初回接種を、生後2か月から出生14週6日後までにします。 | |
| 摂取量 | 1回につき1.5mL | 1回につき2.0mL |
| 方法 | どちらのワクチンも経口摂取（飲むタイプ） | |
| 接種後、特に注意する事 | どちらのワクチンも、接種後（特に1～2週間）は腸重積症（後述）の症状に注意し、症状が見られた際には、すみやかに接種した医療機関を受診してください。 | |

※定期接種期間前のR2.9月までに受けた場合には、接種した回数分を接種したものとみなしますので、残りの回数を定期接種として受けることができます。二重接種にならないよう、必ず母子手帳を確認してください。

【ロタウイルス胃腸炎とは？】

口から侵入したロタウイルスが腸管に感染し激しい下痢や嘔吐を起こす感染性の胃腸炎で、乳幼児のうちにほとんどの子どもが感染します。感染力が非常に強く、手洗いや消毒などをしっかりしても感染を防ぐことが難しいため、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で最も多い感染症となっています。下痢や嘔吐は1週間程度で治りますが、ひどい場合は脱水症状やけいれん等の重症化を引き起こすこともあります。ロタウイルスは、一生のうちに何度も感染するウイルスですが、初感染時は特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響を及ぼす場合や、生後すぐに感染する場合もあることから、ワクチンの接種は、早い時期に完了させることが大切です。

【ワクチンについて】

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらも飲むタイプの生ワクチン（毒を弱めたウイルス）です。2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なりますので、他のワクチンとの接種スケジュールなども考慮し、医療機関と相談の上、どちらを接種するか選択してください。なお、原則、途中からワクチンの種類を変更することはできないので、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。

多くのワクチンの接種が重なる期間ですので、医療機関と相談して、他のワクチン接種と合わせて接種することも検討してください。初回は、生後2か月から出生14週6日までに接種します。出生15週0日以降の初回接種はお勧めしません。

なお、このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症そのものは7~8割、入院するような重症化は、そのほとんどが予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

【ワクチンを接種する‘前’の注意】

接種前30分ほどは授乳を控えることをお勧めします。赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合があります。なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題はありませので、再接種の必要はありません。

【ワクチンを接種した‘後’の注意】

- ①接種直後は、医療機関で30分ほど様子を見てから帰宅してください。
- ②特にワクチン接種後2週間ほどは、おむつ交換の後など、丁寧に手を洗ってください。赤ちゃんの便の中にワクチンのウイルスが含まれることがあります。
- ③高熱、けいれんなど、異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

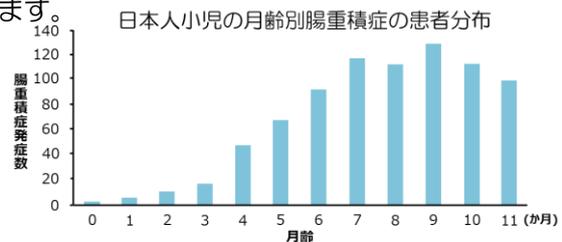
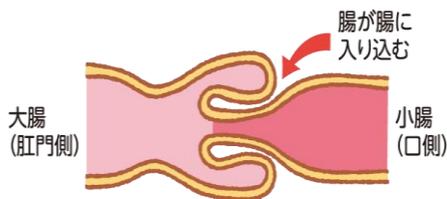
【接種後に起こるかもしれない体の変化について】

- ①いつもより機嫌が悪かったり、ぐずったり、眠そうにしたりすることがあります。
- ②極めてまれに、アナフィラキシーや急性散在性脳脊髄炎などの重い病気にかかることがあります。

* 大きな副反応が出た場合は、接種した医療機関及びこども課までご連絡ください。

【腸重積症について】

腸重積症とは、腸管が腸管に入り込み、閉塞状態になる病気です（下図）。ロタウイルスワクチン接種後、極まれに腸重積症が発症することもあります。接種をしなくても3~4か月齢ぐらいから月齢が上がるにつれて発症率の増加が見られる（下のグラフ）病気です。副反応による発症をできるだけ防ぐために、早めにワクチン接種を開始し、完了させることが勧められています。



腸重積症は、手術が必要になることもありますが、発症後早く治療すれば、ほとんどの場合手術をせずに治療できます。以下のような症状が一つでも現れたら、腸重積症が疑われますので、速やかに接種した医療機関を受診してください。なお、接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、このワクチンを接種したことを医師に伝えてください。

- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- 血便が出る

【接種できない場合】

- ①明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
- ②重度の急性疾患にかかっている人
- ③過去に同じワクチンで強いアレルギー反応が出た人
- ④未治療の先天性な消化管障害（メッケル憩室等）のある人
- ⑤過去に腸重積症を起こした人
- ⑥重症複合型免疫不全（SCID）のある人

この他にも接種を中止または延期した方がよい場合もありますので、予防接種を受ける際には、あらかじめ予診票を記載して受診し、医師と相談してください。